

九州地方労働前衛隊の結成

従来の青年運動が徒らに矯激尖鋭化し、爲に喧嘩と非難を一手に引受けるが如き感があつたが、その本来の使命は將來組合の中堅的人物たりうる者、組合指導精神の忠實なる實行者の養成でなければならぬ。

故に我等は北九州に於て健全なる労働組合運動を進めてをる日本労働組合會議九州地方協議會加盟団体青年部を持つて、過去の青年運動に繰返された誤謬の克服と、我等の

運動に對する確りした信念を涵養すること、即ち精神的訓練に重点を置いた青年行動隊を結成することを本組合より提唱し、かくして二月十日小倉製網労働會館に於て、九州地方労働前衛隊の結成を完了した。未だ結成後日淺きため特記すべき活動を見てをらぬが、所期の目的に向つて健全なる歩を進めてゐる。

本年度國際労働總會に顧問の選出

第十九回國際労働總會出席の日本労働代表委員の選出に際して日本労働組合會議第二回執行委員會に於て本組合の加藤氏を顧問に推薦された。結成日淺き本組合より労働顧問の推薦を得たことは、組合會議加盟団体の友誼と御支持によるものとし感謝に堪えない。と同時に我組合の社會性の擴大として喜ぶべきことである。

會議は六月四日より二十六日迄ジュネーヴに於て開催された、加藤顧問は有給休日問題委員會の委員として参加し會議終了後歐米を二巡して八月二十八日歸郷した。

尙本年度會議に於て決定された重要問題は、「一週四時間制」の可決で、未だ一週四十八時間制も實施されない

わが國に對しては甚だ縁遠い話ではあるが、四十八時間制實施の抑草とならう、直接關係のある「鑛山に於ける婦人労働者使用禁止」が可決された、更にわが労働代表一行より上提した「團結權決議案」が八九對一で可決した。本案に對しては日本政府代表は賛成し、資本家代表は棄權したのである。

- 第十九回國際労働總會の日本労働代表顧問
- 代表 日本労働總聯盟會長 八木 信一
- 顧問 日本労働總同盟中央委員 原 虎一
- 同 日本製鐵従業員組合委員長 加藤良左衛門
- 職員 日本労働總聯盟 井出清太郎

勞資懇談會報告

本年度國際労働總會に福岡縣より使用者代表として渡邊福雄氏、労働顧問として本組合の加藤良左衛門氏が出席することになつたので、福岡地方勞資懇談會は三月八日午後四時より福岡市西中州博多商工會議所に於て兩氏の送別會をかねて開催された

事業主側より各會社代表三十余名、労働組合側より各團

組合會議狀況

我國組織労働者の七割、二十六万人を擁し、健全なる労働組合運動の中軸をなす日本労働組合會議第四回年度大會は九月二十九日、神戸市日本海員組合本部に於て開催された

本組合より北野平七、生野輝雄の兩君を代議員として派遣して

一、製鐵産業國家統制徹底化に關する件
一、共済組合法人化促進に關する件
の二議案を上提せしめたが、本年度大會は組合會議の中心題目たる「産業及労働の統制に關する決議」を再び上提しその實現に向つて主力を集中することとしたので、本組合よりの提出議案はその内容に於て上記決議の中に包含さるべき性質のものであるから獨立議案とせず賛成意見として提案理由を説明した、特に組合會議はその徹底を期する

勢

ため、當日プリント印刷にし代議員並に關係方面に配布し本組合提出議案の主旨は徹底のため全般的な協力の誠意を示された。

尙特記すべきことは本大會に後藤内務大臣が、社會局勞政課長森部隆氏を出席せしめ祝辭を寄せられた

内務大臣祝辭
日本労働組合會議第四回大會開催にあたり貴組合會議の健全なる發展を祝し今後共に國家産業の興隆と労働者の福祉増進に貢献せんことを望む

日本労働組合總聯合會が大會席上より「メーデーは階級意識の宣揚であるから排撃する」と云ふ事を口實に脱退した事に對し新聞紙上に組合會議の大分烈かの如き報導がなされてあつた。が、かかる「反動的傾向を有する曖昧極まる理